



本市の現状、課題と将来に向けたまちづくりを踏まえ、以下を本市の地域公共交通が目指す姿（基本理念）および今後の取り組みの方向性（基本方針）とします。

## ■ 幸手市の公共交通が目指す姿（基本理念）

みんなで考え  
みんなで育てる、  
持続可能な公共交通の実現



人口減少、少子・高齢化、それらに伴う利用客数の減少や運転手不足など、公共交通を取り巻く環境は、今後ますます厳しくなっていくことが予想されます。

他方で、現状の本市では、クルマが移動手段の主流であり公共交通の利用者は少ない傾向にある反面、年齢を重ね将来の外出手段に心配事のある人が一定数存在しており、公共交通へのニーズは今後ますます高まっていくものと見込まれます。

このように不安定な状況の中で、将来に渡り持続可能な公共交通を実現していくためには、行政、運行事業者、関係機関、市民が一体となって、公共交通の現状と課題について認識を共有し、現在そして将来の市民の生活に貢献できる公共交通のあり方について、**みんな**で試行錯誤を繰り返す（**考える**）こと、今以上に関心を持ち利用する（**育てる**）ことが必要です。その想いを「目指す姿（基本理念）」としました。

## ■ 今後の取り組みの方向性（基本方針）

### 方向性1

将来にわたり、地域にふさわしい公共交通を  
持続します

本市の公共交通は、将来にわたって持続し日々の暮らしやまちづくりを支えていくことを目指します。そのため、地域の実情に適した形での公共交通の持続的な運行、日常的な利用客の確保、効率的な運行・運用に取り組みます。

## 方向性 2

### 高齢化などを見据え、外出手段を確保し、 便利にする調整・工夫をします

高齢者をはじめ、市内の各地域で暮らす市民が日々の外出に使える公共交通サービスの提供を目指します。そのため、種々の調整・工夫による方策を検討し、市内・市外への外出手段の確保・利便性向上に取り組みます。

## 方向性 3

### 利用時のわかりやすさ、 やさしさを充実します

現在までほとんど利用していない人や、不慣れな高齢者、市外からの来訪者にもわかりやすく、人にも地球にもやさしい公共交通を目指します。そのため、市内の公共交通全体のわかりやすさ、乗り場での案内の充実、乗り継ぎ拠点での待ち環境や人にやさしい利用環境の充実に取り組みます。

## 方向性 4

### 将来にわたって確保・維持していけるように、 公共交通を利用する意識の醸成を図ります

市民などが少しずつでもクルマだけに依存した外出スタイルを見直すよう促し、使える時には公共交通を使ってもらい、持続できるようみんなで守っていくという意識を育むことを目指します。そのため、市民への公共交通のことを知る機会、乗る機会、考える機会の提供に取り組みます。

## 方向性 5

### まちの賑わい創出に貢献する方策を 模索します

なるべく多くの人々の来訪、回遊に利用されることを通して、まちの賑わいに貢献する公共交通を目指します。そのため、観光と公共交通が連携した企画や利便性の充実に取り組みます。